
お調子者のドロボウ達と小さなハッカー

バカと不幸

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

お調子者のドロボウ達と小さなハツカー

【Nコード】

N0797Z

【作者名】

バカと不幸

【あらすじ】

時は2043年、ドロボウはこの時代にも存在していた。

そのドロボウの名前は「イーゼル・ルパン」より正確に言うところパ
ン五世だ！

今日の出会いは大切に

「逃げるな!!」

現在、俺は絶賛逃走中である、理由？聞きたいか？後で教えてやるよ。

「へっへん！捕まえられる者なら捕まえてみる！」

「くそお！……全員につぐ、A班につぐ周りを固めろ！」

「甘いな！爺さん俺には「仲間」がいるんたぜえい!!」

そう男が叫ぶと、男はビルの屋上から飛び降りた。

「まさか！自殺するきか！」

「……………するわけねえだろ！宝はいただいていくぜえ!!」

そして俺は、ヘリコプターに捕まって逃げていった。

「アバよ!!」

――――

「いや〜つかれたわ〜」

「疲れたように見えねえが」

おつと説明を忘れていたな！俺の名前は「イーゼル・ルパン」正確に言うとルパン五世だ。

「ルパン……俺達二人だけでは限界が来ているぞ」

「気にするな、気にするな、俺達は気ながに行こうぜ！」

「ハァー何なんだろうな、お前といると俺がドロボウやってる意味を忘れそうだ」

ついでに説明しておくこのどっから見てもやる気が無い塊の様に見えるのが「富咲樓池」だ。

「何しろ、男二人ではテンションも下がる、可愛い女を呼んでくれよ」

「ドロボウに女はなかないねえよ……爺さんの仲間の「峰不二子」がいたくらいだね」

「ああしかし、科学技術の進化は怖いよな、2043年怖いな」

「超伝導型飛角砲……逃げんの面倒だったなしなあ〜」

ワインを飲みながらそんな話をしているとこちらに誰かがゆっくり歩いてくる音がした。

「オイ、ルパン誰かが来たぞ……その拳銃好きだな」

「お前だって、その剣ずつと持ってんじゃーねえか」

足音が、ドアの前で止まると俺達は互いに目を見合い、一斉にドアを開けた、そこには。

「おいおい、何で子供がこんな所にいるんだ」

「お前がさつき祈ったからじゃねえの？」

「こんな、幼女俺は祈ったつもりはねえよ」

「お前がルパンだな！」

いやいや、何でこんな奴にため口で話されなければならないんだ？

「おーいそのお嬢ちゃん、ここはどうやって知ったんだ？」

「ここは、私がハッキングして探したんだ！」

「なる程……冗談が旨いなお嬢ちゃんわ」

「冗談じゃないよ！何だったら今やろうか？」

ついでに、本物だった場合覚えておいて後で使ってみるか。

「まず、私愛用のパソコンを出して……」

「出して何わするんだゝあい？」

「ルパン…いったん喋るな」

ひっどいなあゝあんまり今日俺喋ってないぜ。

「どこにウイルス送って欲しい？」

「どこでもいいぞ」

「……………よし！あのパソコンに送ったよ」

お嬢ちゃんは、棲池のパソコンを指差して言った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0797z/>

お調子者のドロボウ達と小さなハッカー

2011年12月3日00時55分発行